

## 御挨拶

国際交流推進室ニュース第17号をお届けします。我が国の18歳人口が減少の一途をたどるなかで、学生を取り巻く大学内・外の状況は大きく変化しています。その影響は様々で、たとえば、本年の就職活動は「超売り手市場」と揶揄されています。おのずと世界各国から信州大学に留学する学生への期待も大きくなっています。信州大学では、金沢大学と共同で「留学生就職促進プログラム」(平成29年度文部科学省委託事業)という新たな取り組みを開始しています。北陸・信州4県の労働人口に占める外国人就業者数は約1.5%ですが、大学や大学院卒の高度職業人材の採用は停滞しています。これに対して、我が国の企業文化に溶け込んで地域に根付き、北陸・信州地域の産業活性化と我が国の成長の原動力となる留学生の育成と輩出を目指す新たな取り組みです。繊維学部で学んだ留学生が社会の担い手となって活躍できるように実質的で柔軟な留学生教育を続けていきます。今後とも、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

## 学内行事

[海外留学説明会]

平成30年4月11日、繊維学部海外留学説明会を開催しました。50名近い学生が参加し、留学への関心の高まりを伺わせました。平林国際交流推進室長が、学部間交換留学やフランスの協定校とのダブル・ディグリー・プログラムなど繊維学部独自の留学プログラムについて紹介した後、松本のグローバル教育推進センターからお越しの津田先生が信州大学全体の学生派遣の推移や各学部の傾向をユニークなグラフを使って説明しました。最後は、昨年度、学部間交換留学でチェコのリペツ工科大学に1年間留学した修士課程2年生(先進繊維・感性工学分野)の新見嘉崇さん、および内閣府のプログラム「世界青年の船事業」に参加した修士課程1年生(先進繊維・感性工学分野)の加藤なつみさんに留学体験を発表してもらい、参加学生たちは、会場が静まりかえるほど熱心に先輩の話に聞き入っていました。

[留学生ガイダンス・歓迎交流会]

今年度も全留学生を対象にガイダンスと新生歓迎交流会を開催しました。ガイダンスでは東京入国管理局長野出張所、上田警察署、上田市多文化共生推進協会より来賓をお招きし、留学生が日本で生活するにあたり大切なことやルールを話していただきました。引き続き、マルベリー

ホールにて歓迎交流会を行い、教職員を含め50名ほどが参加しにぎやかな交流会となりました。

## 新しい交流協定の締結

平成29年度は、パキスタン繊維大学(パキスタン)、江南大学紡織服装学院(中国)、ピレウス応用科学大学(ギリシャ)と新たに学部間交流協定を締結しました。また、平成29年6月には、既存の繊維系4大学協定に新たに3大学を加え、繊維系7大学グローバルパートナーシップ協定を締結しました。7大学を構成するのはノースカロライナ州立大学繊維学部、香港理工大学繊維被服研究所、マンチェスター大学素材学部、信州大学繊維学部、リーズ大学デザイン学科、福井大学、京都工業繊維大学です。今年9月には繊維学部キャンパスを会場に、これら7大学によるTextile Summit 2018を開催します。

## 訪問

2018年3月にギリシャのピレウス応用科学大学から2名の先生の訪問を受けました。繊維学部は、2017年にピレウス応用科学大学と、EUのプログラムであるエラスムス・プラスICMに共同採択されており、今回の訪問はエラスムス・プラスの枠組みによる訪問です。一行は訪問1日目に、松本キャンパスで濱田学長やグローバル教育センターの田中センター長と今後の更なる交流について意見交換をしました。また、午後は上田キャンパスで、Fii棟や繊維関係の施設を見学しました。訪問2日目は下坂学部長を表敬訪問し、2018年度のエラスムス・プラスICMへの申請や、採択された場合の学生の交換留学、MOUの締結などについて具体的な話し合いをしました。

その他にも、1月に台湾の逢甲大学、5月にブラジルパラナ州よりパラナ日伯商工会議所の一行、6月にはタイのチュラロンコン大学より訪問を受けました。



ピレウス応用科学大学一行による濱田学長表敬訪問

## 留学生の声：佐藤里穂さん

2017年9月から、アメリカの南オレゴン大学にて10ヶ月の交換留学をさせていただいている感性工学ユニット修士2年生の佐藤里穂です。トビタテ！留学JAPANの7期生として支援を受け、アメリカ西海岸で先進的なものづくりの知識やIoTの技術などを学んでいます。南オレゴン大学は、少人数クラスが特徴でグループワークやディスカッションなど学生が能動的に考え、行動し、知識を身につける授業が多くあります。また私は授業を受けるだけでなく、実践的な活動としてポートランドなどで開催されているIoT関連のミートアップ(同じ興味を持った起業家や学生が集まり、自分の製作物などを持ち寄って意見交換や人脈作りをするイベント)にも積極的に参加させていただいています。知り合いなど一人もおらず、ほとんどの人が高い工学の知識を持った英語を第一言語とする人たちの中、自分から声をかけるのは大変勇気のいる行動でしたが、今では怖いもの知らずに声をかけられるようになりました。大学では、失敗を恐れず積極的に笑いを取りに行ったことでアメリカ人の友達が沢山できました。彼女達と、しんどい課題が出たときは助け合い、期末試験終了後の週末は全力で遊ぶというアメリカらしいメリハリのある充実した生活を送っています。



留学先での充実した日々  
(左から一人目が佐藤さん)

## 繊維学部留学生の動向

2018年3月24日に学位授与式が開催され、2名の博士課程学生、8名の修士課程学生、3名の学部学生を送り出しました。4月には、2名の博士課程学生、2名の修士課程学生、5名の学部学生、3名の研究生が入学しました。これで、6月現在の繊維学部(修士課程、博士課程含む)の留学生の総数は77名となりました。

## 繊維学部への留学状況(課程と出身国)

|      |    |
|------|----|
| 博士課程 | 31 |
| 修士課程 | 20 |
| 学部   | 15 |
| 研究生等 | 11 |
| 計    | 77 |

|        |    |
|--------|----|
| 中国     | 36 |
| マレーシア  | 5  |
| 韓国     | 5  |
| ベトナム   | 10 |
| インドネシア | 2  |
| パキスタン  | 4  |
| モンゴル   | 2  |
| フランス   | 2  |
| タイ     | 2  |
| ドイツ    | 2  |
| モロッコ   | 2  |
| 台湾     | 2  |
| イラン    | 1  |
| インド    | 1  |
| ブラジル   | 1  |
| 計      | 77 |

## 留学生代表ご挨拶

いつも信州大学繊維学部外国人留学生支援の会の会員の皆様にはたくさんのご支援をいただきまして、心から感謝しております。上田キャンパスには、数多くの留学生が在籍しています。留学生たちは早めに日本の生活に慣れるように努力し、一生懸命日本語を勉強しています。留学生会は、留学生が充実した留学生活を送れるように、いろいろな楽しい活動を行っています。将来、私たち留学生は、日本に就職しても、国に帰っても、信州大学繊維学部外国人留学生支援の会の恩を心に銘記します。最後になりますが、いつも私たちに暖かい支援をしてくださる「信州大学繊維学部外国人留学生支援の会」に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

繊維学部留学生代表 荊 義男(けい ぎなん)

## 国際交流推進室 室員紹介

平林公男(室長、応用生物科学科)  
金 翼水(副室長、機能機械学コース)  
小林俊一(副室長、バイオエンジニアリングコース)  
鮑 力民(機能機械学コース)  
ハニウッドマイケル(感性工学コース)  
平田雄一(応用分子化学コース)  
金井博幸(先進繊維工学コース)  
福長 博(ファイバー材料工学コース)  
若月 薫(機能機械学コース)  
金 灵屋(感性工学コース)

### 【今後の予定】

8月24日～30日 日中韓シンポジウム(中国 蘇州大学)  
9月5日 繊維学部留学生研修旅行  
9月20日～22日 テキスタイルサミット2018(繊維学部会場)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>